設 立 趣 旨 書

特定非営利活動法人○○○○

設立代表者　△△　△△

１　趣旨

第1段落：社会課題や現状

（例文）

近年、不登校児童生徒の数は全国的に増加傾向にあり、文部科学省「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」によると、中学生の不登校者数は193,936人、高校生は60,575人と、いずれも過去最多を記録しており、学齢期の子どもたちにとって極めて深刻な社会課題となっています。（客観的な事実）

不登校が長期化することで、学習の遅れにとどまらず、生活習慣の乱れ、社会性の未発達、自己肯定感の低下など、様々な課題が生じます。さらに、塾や習い事などの機会にも恵まれにくく、こうした環境の格差は、学習格差や体験格差を生み出す一因となっています。

（ポイント）

・統計データなどの客観的な事実を記載

・具体的な実態や課題を描写

第2段落：事業の概要

（例文）

そこで当団体は、上記のような課題を抱える子どもたちに対し、安心して過ごせる居場所と、自分のペースで学べる学習機会を提供することを目的として、フリースクールの運営を行います。学習支援に加え、さまざまな体験活動を通じて、子どもたちの自己肯定感の向上と社会的自立を支援し、こうした社会課題の解決に貢献することを目指します。

（ポイント）

・「誰に」「何を」「どのように」提供するのかを明確にする

・「社会課題の解決につながる」という言葉で締める

第3段落：法人格が必要になった理由

（例文）

活動を継続的かつ安定的に実施するには、資金調達、各種契約の締結、社会的信頼の確保が不可欠であり、そのためには法人格の取得が必要であると判断いたしました。

第4段落：NPO法人を選んだ理由

（例文）

また、当団体は営利を目的とせず、社会課題の解決を目的とした活動を実施するものであることから、NPO法人として法人化することが最適であると考え、設立に至りました。

２　申請に至るまでの経過

○○年○○月○○日　特定非営利活動法人○○○○の設立を構想

○○年○○月○○日　発起人会開催